

平成26年3月18日
文部科学省国際統括官付

「ESDに関するユネスコ世界会議」について

I. 「ESDに関するユネスコ世界会議」

1. 背景

2002年に開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）において我が国の小泉首相（当時）から「国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD）」について提案し、同年の第57回国連総会において、2005年から始まる10年を「国連DESD」とすることが決議された。国連DESDの最終年である本年に日本政府とユネスコの共催でESDに関するユネスコ世界会議が我が国において開催される。

2. 目的

我が国をはじめ世界各国における国連DESDの活動を振り返るとともに、2015年以降のESD推進方策について議論し、ESDの更なる発展を目指す。

3. 開催概要

愛知県・名古屋市において閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合を開催する。それに先立ち、国連機関、研究者、学校関係者等各種ステークホルダーの会合を岡山市において開催し、その議論結果を愛知県名古屋市での会合に反映させる。

○愛知県・名古屋市

- ・閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合

日程：2014年11月10日（月）～12日（水）

会場：名古屋国際会議場

ユネスコ加盟195カ国から閣僚を含む約1000人規模の会合

※なお、11月13日（木）に国内関係者によるフォローアップ会合を開催

○岡山市

- ・ユネスコスクール世界大会

日程：2014年11月6日（木）～8日（土）

会場：ホテルグランヴィア岡山、国立大学法人岡山大学

国内外の高校生及び教員約1,000人が参加

- ・ユース・コンファレンス
日程：2014年11月7日（金）
会場：岡山国際交流センター
世界各国の18～35歳のESD実践者等100人が参加

- ・持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議
日程：2014年11月4日（火）～7日（金）
会場：岡山コンベンションセンター
世界各国のESD実践者300人が参加

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議の日程

	10月	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
岡山市 〽	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> 公民館・CLC（コミュニティーラーニングセンター）会議（詳細未定） </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px; margin-left: 200px;"> ユネスコスクール世界大会 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 250px;"> ユース・コンファレンス </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;"> 持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議 </div>													
愛知県・名古屋市	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 500px; margin-bottom: 10px;"> 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 850px;"> フォローアップ会合 </div>													

※上記は現時点で予定されているものであり、他にもNPO等による各種イベント等を検討中

※公民館・CLC会議は、世界会議関連行事として岡山市が主催するもの

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議（会議構成）

全 体

区分	場所	日時	説明
閣僚級会合及び全体のとりまとめ 会合等	愛知県名古屋市	2014年11月10～13日	1,000名の参加者を伴う日本政府及びユネスコ主催の世界会議
ステークホルダー会合	岡山県岡山市	2014年11月4～8日	「ユネスコスクール世界大会」、「ユース・コンファレンス」、「持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議」の3つの会合

閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合等

区 分	説 明
全体会合	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング（主催者挨拶、キーノートスピーチなど） ・会期中、10年間の活動の実績報告、教育の新たな方向付け、持続的な発展のための行動の促進など4つのテーマ[※]を議論。 ・クロージング。
閣僚級会合	<ul style="list-style-type: none"> ・閣僚級（大臣又は副大臣）が出席。
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのクラスターについて、計34に分かれて議論。
サイドイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟国政府、国際機関、NGO等がESDをテーマにイベントを開催（8件×3日）。イベントはユネスコの世界会議のサイトで公募の上、選考。
展示発表	<ul style="list-style-type: none"> ■ 展示発表予定 － ESDの優れた実践プロジェクト 等

※①10年間の活動の実績 ～何を達成できたか、また、どのような教訓が得られたか～

②万人のためのより良い未来を築くための教育の新たな方向付け ～ESDは質の高い教育の強化にどのように役立つのか～

③持続的な発展のための行動の促進 ～ESDを通じて、持続性という課題にどのように取り組めるのか～

④ポスト2014のためのESDアジェンダの作成 ～私たちの共通の未来のための戦略とは～

ESDに関するユネスコ世界会議
 ステークホルダー会合（岡山市）について

11/4	11/5	11/6	11/7	11/8
火	水	木	金	土
		<p>1. ユネスコスクール世界大会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(1) Student (高校生) フォーラム 参加者：海外33か国から132名 日本9地域から36名の高校生 会場：ホテルグランヴィア岡山</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(2) 教員フォーラム 参加者： (1) Student フォーラム引率 教員等50名</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 60%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>(3) 全国大会 参加者：国内外のユネスコスクール 教員等1,000名程度 会場：岡山大学 他</p> </div>		
			<p>2. ユース・コンファレンス 参加者：世界各国の18~35歳のESD実践者等100名 会場：岡山国際交流センター</p>	
		<p>3. 持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議 主催：国連大学 参加者：世界各国のESD実践者300名 会場：岡山コンベンションセンター</p>		
			<p>オープニングセレモニー 主催：岡山市 会場：岡山シンフォニーホール</p>	

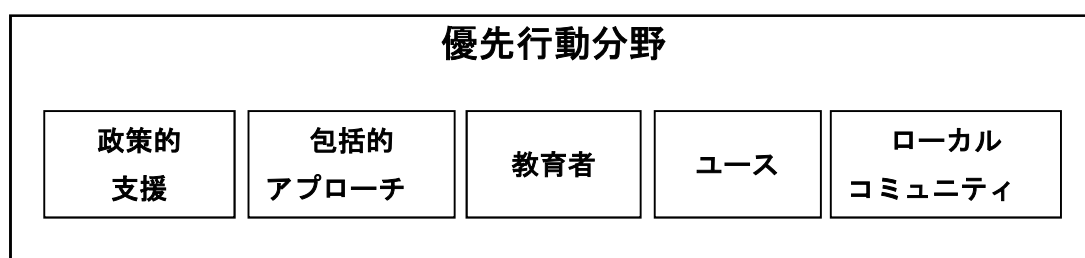
Ⅱ. 「ESDに関するユネスコ世界会議」の成果文書（ユネスコ事務局案）

世界会議では、「ESDグローバルアクションプログラム」※の具体的な実施に向けて、各ステークホルダーがESDを更に強化し、そのための行動を起こすことを宣言する文書を採択する予定。

これを通じ、2015年以降のグローバルアクションプログラムに沿った関係者の取組がより強固で広範なものとなることが期待される。

※ESDグローバルアクションプログラムについて

- ・「国連ESDの10年」の後継プログラムとして位置付け、2015年以降のESDの取組を推進する。
- ・2013年10月の第192回ユネスコ執行委員会で承認され、11月の第37回ユネスコ総会で採択。今後、2014年秋の国連総会で採択される予定。



Ⅲ. 日本の取組・成果レポート（ジャパンレポート）の作成

ESDの10年の提案国として、また、本年の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」の開催地国として、国内の取組を喚起するとともに、2015年以降の諸外国における取組の参考としてもらうため、「わが国における『国連持続可能な開発のための教育の10年』実施計画」（平成18年連絡会議決定。平成23年改訂）に基づく取組・成果及び国内の優良事例を、円卓会議の実施により関係者からの意見を聴取しつつ、本年の出来るだけ早い時期までに取りまとめ、国内外に発信する。

IV. 「ESDに関するユネスコ世界会議」に向けた広報

1. 最近開始した主な取組

多くの方々へのESDの普及・浸透を目指し、今後は以下の取組等を随時実施。イベントやメディア露出など、様々なシーンでの展開を予定。

(1) 「ESD」愛称公募

文部科学省では環境省とともに、ESDをより身近に感じてもらうため、「みんなでつくる みんなにわかる『持続可能な開発のための教育（ESD）』愛称公募」を開始しました。公募を通じて親しみやすく、覚えやすいESDの愛称を設けることで、11月に開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功及びそれ以降のESDの推進に向け、国内におけるESDの理解の促進を目指す。

- ①スケジュール 公募：平成26年3月4日（火）～4月25日（金）
審査：平成26年5月上旬
発表・受賞式：平成26年5月下旬

- ②応募方法： ESDストーリーブック『ESD QUEST』（2. これまでの主な取組（3）ESDストーリーブック『ESD QUEST』を参照）を読み、ESDを覚えやすく、親しみやすく表現した15文字以内の愛称を応募。



※ESD愛称公募 専用ホームページ

URL： <http://www.esd-jpnatcom.jp/ai-sho-boshu/>

(2) 『ESD QUEST』キャラクター（文部科学省作成）とESDマスコットキャラクター「はぐクン」（環境省作成）との連携

『ESD QUEST』に登場するキャラクターと、環境省が作成したESDマスコットキャラクター「はぐクン」を連携させ、今後は、文部科学省と環境省が連携して行う取組に関する様々な情報発信の場で活用する予定。

<文部科学省と環境省のコラボキャラクター>



2. これまでの主な取組

(1) 「ESDに関するユネスコ世界会議」ロゴマーク

世界会議の周知のため、ユネスコと日本政府はロゴマークを策定。



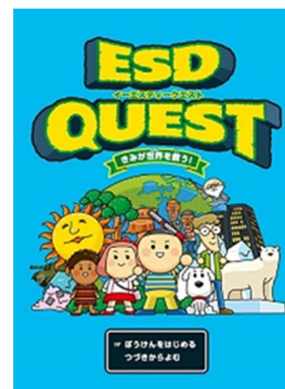
(2) ESDスローガン 「あなたの毎日が、未来になる。」

「ESDは自分に関係あるもの」という意識を啓発するため、スローガンを策定。

趣旨：自分たち一人一人が毎日身近なところから行動を起こすことが、持続可能な地球の未来につながる

(3) ESDストーリーブック『ESD QUEST』

小学校高学年の児童から大人まで理解できるよう、可愛いキャラクターを用い、ロールプレイング形式にてESDを分かりやすく説明するストーリーブックを作成し、ユネスコスクールを含む、学校関係者、ESD関係イベント出席者等に約13,000部配付。



※日本ユネスコ国内委員会HP「ESDページ」からダウンロード可能
URL：<http://www.mext.go.jp/unesco/004/1339957.htm>

(4) 「ESDに関するユネスコ世界会議」ウェブサイト

2013年8月、ユネスコにおいて世界会議ウェブサイトを開設。
URL：<http://www.unesco.org/new/en/unesco-world-conference-on-esd-2014/>

(5) ESDフェイスブック

平成25年10月、ESDを更に周知するためのフェイスブックを開設。ユネスコスクールの活動紹介、ESD標語など、盛りだくさんの内容でESDを分かりやすく発信。

URL：<https://www.facebook.com/esd.jpnatcom>

